



半期及び通期業績予想

Table with columns for fiscal years (FY08/15 to FY08/19) and sub-periods (上半期, 下半期, 前期, 後期). Rows include sales (売上高), operating profit (営業利益), net profit (純利益), and various expenses. Values are in millions of yen.

出所: 会社資料よりSR作成



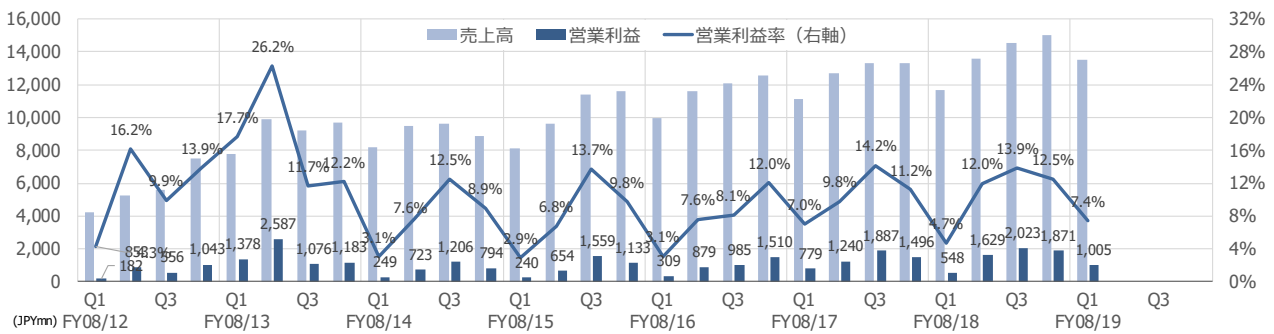
2019年8月期第1四半期決算（2019年1月10日発表）

業績概要

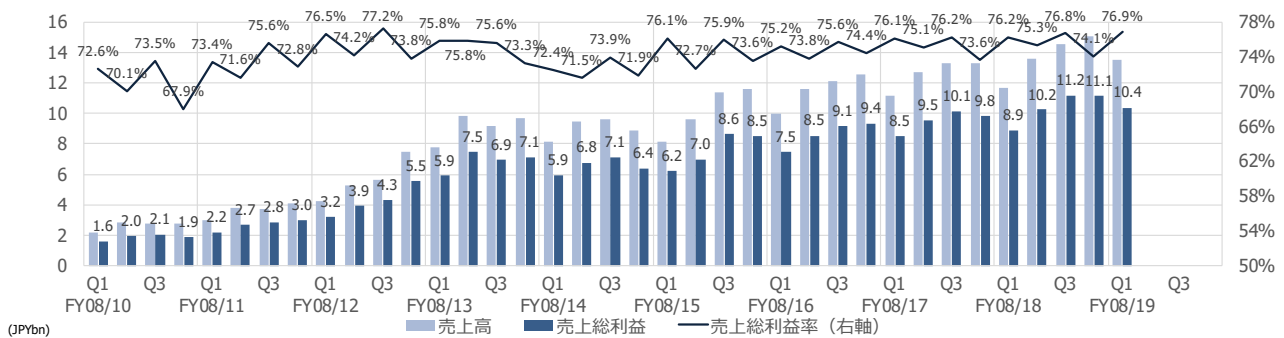
2019年8月期第1四半期連結累計期間の業績は、売上高13,506百万円（前年比15.5%増）、営業利益1,005百万円（同83.4%増）、経常利益900百万円（同111.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益501百万円（同201.8%増）となった。国内既存店売上高は5.6%増と好調に推移したことにより増収、増収に伴い売上総利益が増加したこと及び広告宣伝費を前期と比べて使用しなかったことなどにより営業増益となった。なお、2019年8月期第1四半期より台湾子会社を連結の範囲に含めている。

同社では市場環境について、国内眼鏡小売市場は2016年3月以降前年比マイナスの傾向が継続しており、足許は引き続き弱含みに推移している。そうした中、同社グループのアイウェア事業では、重要な経営課題として、1) 商品ラインアップの多様化、2) 接客力・店舗オペレーション力の向上、等の取組を積極的に推進している。国内アイウェア事業で更なる成長を実現していくために、イノベティブなプロダクトの開発やショールーミングをはじめとした店舗オペレーションの効率化に注力している。店舗戦略ではショッピングモール形態での出店を継続しながらも郊外ロードサイド型の出店を加速し、更なる店舗基盤の強化に努めてきた。

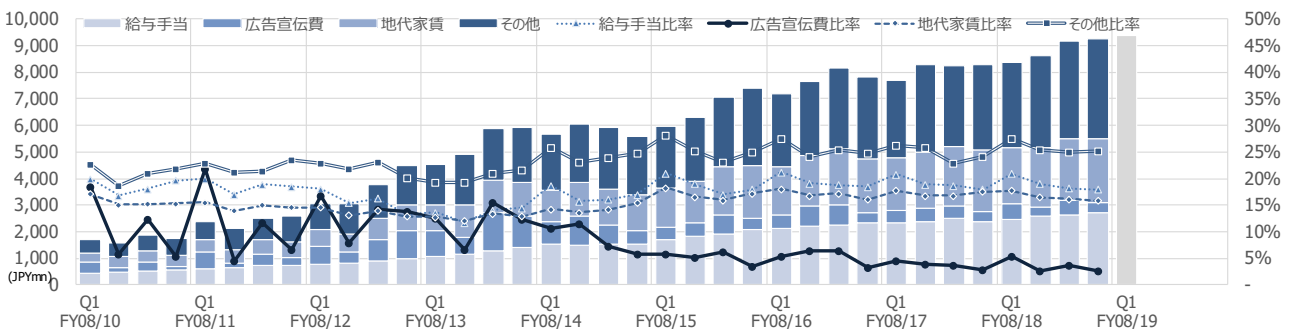
業績推移（百万円）



粗利率推移



販管費（百万円）



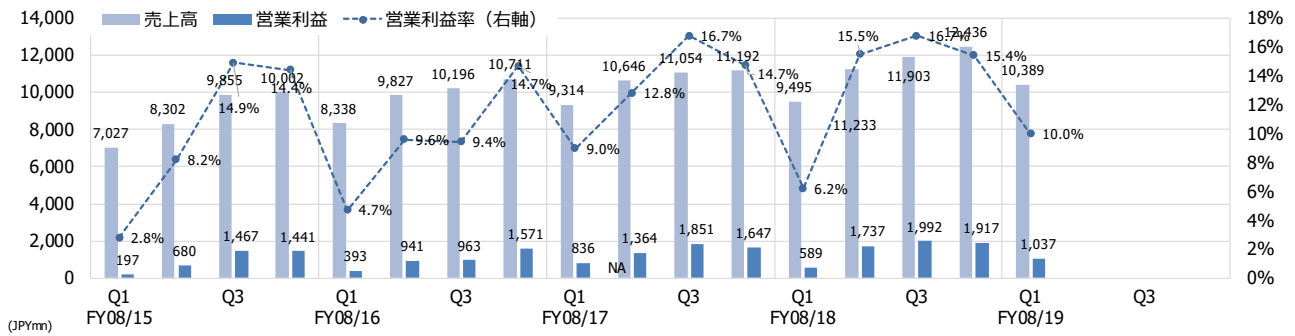
出所：会社資料よりSR作成

セグメント別業績

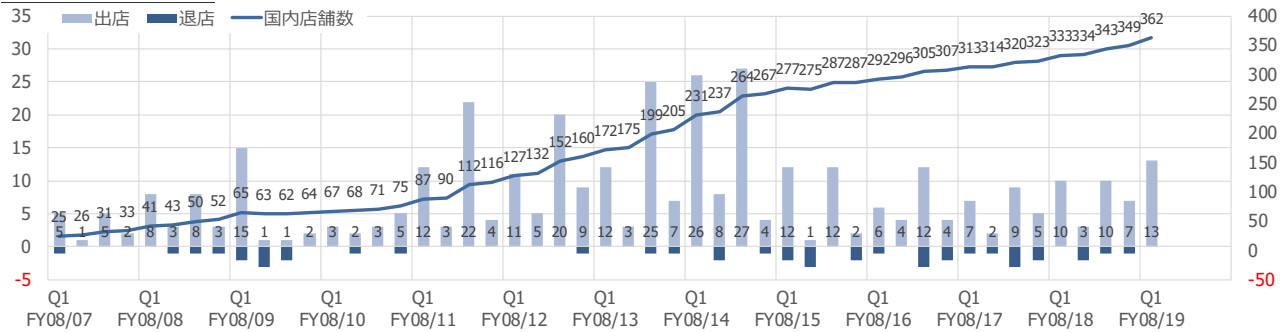
国内アイウェア事業

2019年8月期第1四半期の売上高10,389百万円（前年比9.4%増）、営業利益1,037百万円（同76.1%増）となった。既存店売上高は5.6%増となった。秋冬物の新作「Classic」シリーズやイタリアを代表する建築家ミケーレ・デ・ルッキ氏と協業した「JINS×Michele De Lucchi」等の商品展開や、コラボレーション商品が好評を博し、売上を牽引した。店舗展開については、店舗数は362店舗（出店13、退店0）と概ね計画通りに進捗した。

国内アイウェア事業



アイウェア事業店舗数



既存店売上高前年同期比推移



出所：会社資料よりSR作成

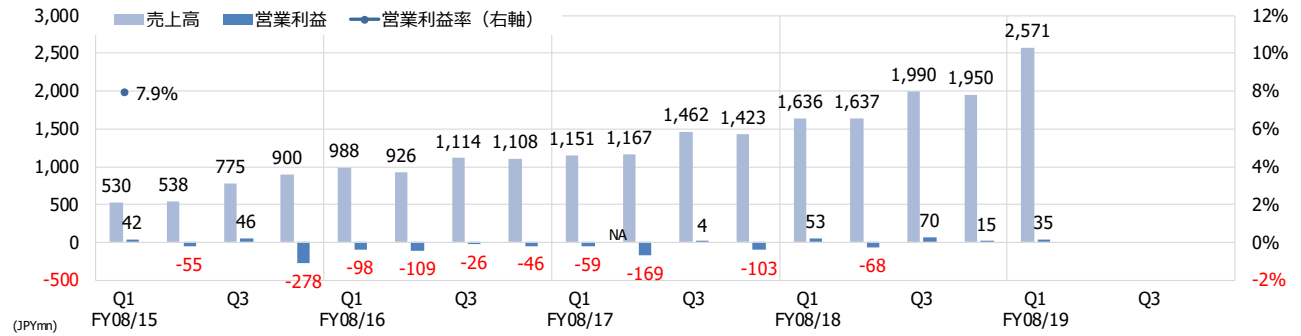
海外アイウェア事業（7~6月を連結）

海外アイウェア事業は、売上高2,571百万円（前年比57.2%増）、営業利益35百万円（同34.0%減）となった。

- ▷ 中国（136店舗、出店8、退店2）：出店数及び既存店売上高は順調に増加しているが、為替環境が見込みよりも元安であったことなどにより利益の押し下げ要因となった。
- ▷ 台湾（22店舗、出店1、退店0）：今期より連結の範囲に追加された。2015年11月の1号店出店から順調に伸長している。
- ▷ 香港（1店舗、出店1、退店0）：2018年9月に1号店を出店したことにより出店費用が先行して発生している。

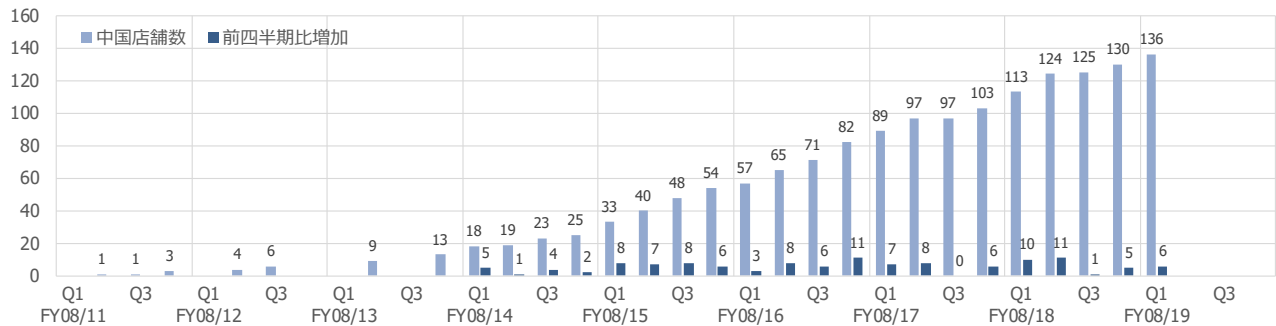
▷ 米国（5店舗、出店1、退店0）：引き続き既存店売上高の高成長が継続していることから出店を再開し、2018年8月にカリフォルニア州トーランス州に新店を出店した。

海外事業



出所：会社資料よりSR作成、2019年8月期Q1から台湾子会社が新規に連結対象となった

中国アイウェア店舗数



出所：会社資料よりSR作成

雑貨事業

重要性の観点から2018年8月期第1四半期よりセグメント化（従来はその他事業）された。売上高545百万円（前年比3.2%減）、営業損失66百万円（前年同期は営業損失95百万円）となった。引き続き通販サイト及び中古市場の台頭などにより厳しさが増しており、市況の変化に対応できるよう店舗オペレーションや商品戦略見直しを行い、業績の回復に注力している。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.
東京都文京区千駄木3-31-12
HP: <https://sharedresearch.jp>
TEL : (03)5834-8787
Email: info@sharedresearch.jp